

祝辞



本日、ここに香取市合併 10 周年記念式典を行うにあたりまして、香取市議会を代表し、一言ご挨拶申し上げます。

このたびの、九州地方で発生いたしました「熊本地震」は、各地に甚大な被害をもたらしました。

犠牲になられた多くの方々に哀悼の意を表しますと共に、被災されました方々に、心よりお見舞いと、被災地の一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

また、来賓並びに関係する皆様には、ご多用中にもかかわらず、ご臨席を賜り厚く御礼申し上げます。本日、この日を迎えることができましたのも、先人たちのご尽力の賜物であると、改めて敬意と感謝を申し上げますとともに、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

さて、千葉県の北東部に位置する香取市は、水郷の風情が漂う利根川等の水辺や、穏やかな姿を見せる丘陵地など、水と緑に恵まれた自然の豊かなまちです。また、利根川舟運の繁栄を偲ばせる街並みや、数多くの史跡と伝統文化が残る歴史の薫り豊かな地であります。

振り返りますと、平成 18 年 3 月 27 日、地勢、産業構造など様々な分野で共通点を有する佐原市、小見川町、山田町、栗源町が合併し、県下 4 番目の市域を持つ香取市が誕生しました。

合併後、初の市議会は、4 月に旧 1 市 3 町の議員 76 人が出席し市民体育館で開かれました。以来、「市民の皆様強く信頼される議会」を合言葉とし、議会だよりやホームページの充実、一問一答による一般質問、議員定数を 22 名に削減するなど「待ったなし」の議会改革に取り組むほか、行政当局とは真摯に、かつ活発な議論を交わし、行財政運営の一翼を担ってまいりました。

また、本市は、宇井市長の指揮のもと、地域に培われてきた豊かな資源を十分に生かしながら、市域の均衡ある発展を目指し、戦略的なまちづくりを進めております。この間、東日本大震災という未曾有の被害に見舞われましたが、多くの皆様のご支援により、着実に復旧・復興が進んだところであり、温かいご支援に対し、重ねて感謝を申し上げますとともに、この経験を生かし、災害に強い安心、安全なまちづくりの実現に一層努めてまいり所存です。

本年、合併 10 周年という記念すべき大きな節目を迎え、市議会といたしましても将来を見据え、魅力あるまちづくりを更に推し進めていくため、市民からの負託を受け、その役割と責任の重さを胸に刻みながら、住民福祉の向上に尽くしてまいり所存でございますので、今後共、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、これまでのご支援とご尽力を賜りました関係機関並びに、市民の皆様に深く感謝を申し上げるとともに、ご臨席の皆様のご多幸とご健勝をご祈念申し上げまして、私の挨拶といたします。

平成28年4月24日

香取市議会議長 林 信行